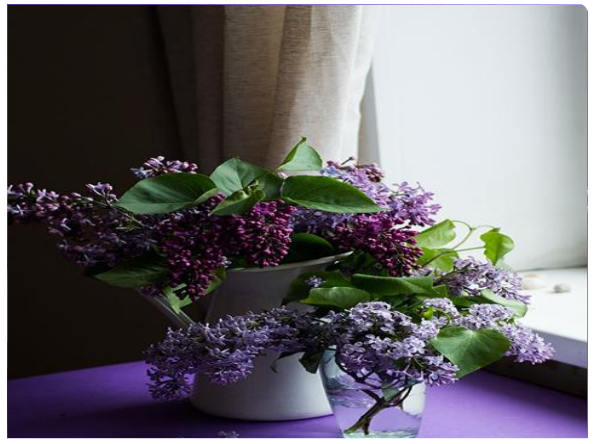


どこかし通信

第49号 2021.11 発行

【新潟県立看護大学看護研究交流センター】

e-mail nirin@niigata-cn.ac.jp Tel 025-526-2822



今年度の公開講座を終了しました

看護研究支援コース 第4回講座

さあはじめよう看護研究④

「研究の実践に向けて；相談会」

開催日：令和3年9月4日(土)13:00～15:00

講師 新潟県立看護大学 石田和子教授

参加数：6名（新潟市・三条市・長岡市）

看護研究支援コース 第5回講座

さあはじめよう看護研究⑤

「わかりやすいプレゼンテーション」

開催日：令和3年10月26日(火)10:00～12:00

講師 新潟県立看護大学 永吉雅人准教授

参加数：15名（新潟市・柏崎市・糸魚川市・小千谷市・上越市）

2回を通じ、その他のご意見、ご感想

・予めオンラインの操作についての解説資料が届き、滞りなく受講できました。

・個人的には、もっと顔出しをしたかったのですが勇気がでなくてすみません。通信状況は問題ありませんでした。

・遠隔で参加できる公開講座は大変ありがたいです。

【参加者アンケートからの感想】

・私の年代は看護教育も十分でなく、院内外の研修等で自己研鑽してきました。後進の育成のために努力してきましたが、大変苦労しました。今まで受講できなかった講義をオンラインで聴講できこのような機会に感謝しています。

【講座の進行を担当した教員からの感想】

・事前に配付した“研究整理シート”がまとめられており主体的に参加することができていました。このコースに初参加の方が2名おられたが計画内容を相談することができていました。

【参加者アンケートからの感想】

・私にとってパワポ作成は高い壁です。先生の講義が非常にわかりやすく、この学びを活かして新たに作成してみようと思います。堅苦しくなく質問しやすい環境でした。

・大変わかりやすい、今後活かせる講義内容でした。

【講座の進行を担当した教員からの感想】

・15名の看護職の参加があり、Web開催でしたが、実際にPowerPointを作成する演習も行われ、作成したものを共有し、各自が学びを得られていました。現在看護研究に取り組まれている方が多く参加されており、発表の際に、本講座の学びを活用していただけたと思います。

♥♥バーチャルカレッジに、新しい教材2本をアップしました。是非、ご視聴下さい♥♥

日本の社会経済格差と子どもの食・栄養—実態調査から
新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科

教授 村山伸子先生

わかりやすいプレゼンテーション

新潟県立看護大学情報科学

准教授 永吉雅人先生

「どこカレメイト」 に登録しませんか？

現職、潜在看護職のリカレント教育（社会人がさまざまな形で学ぶこと）を推進するもので、メイト登録（無料）していただくと、インターネットが使える場所ならどこからでも、パソコンやスマートフォンを使い動画教材をご視聴いただけます。

本センターが開催した講座の中から、**視聴覚教材化した動画を視聴できます。**

【ホームページよりお手続きの方】

本大学 HP → 看護研究交流センター → メイト会員募集 → メイト登録書類

【説明をお聞きになりたい方】

直接看護研究交流センターまでお電話ください。



2022 年度地域課題研究にご応募下さい

With コロナの時代は、かつて経験したことの無いことが次々とおこり、病院、施設、地域、教育、行政、企業等のさまざまな場面に新たな問題や課題が発生しています。現場における疑問や不安の多くは「看護研究」として取り組むことで解決の糸口を見出すことができます。なんとかしたいという課題をお持ちであれば、是非ご応募ください。研究計画書の作成は、本学の教員と一緒にいきます。

【募集テーマ】新潟県内の看護実践上の問題・課題に関する研究課題全般

【対象者】新潟県内の看護実践に関わる看護職とし、本学教員が共同研究者となります。

【研究期間】2022年4月～2023年9月末

【公募期間】2021年9月～11月末

【研究助成費】1件あたり10万円を上限

【応募方法】2022年公募要領（各病院、施設、在宅、学校、行政等に配布済み）または、ホームページ（<https://www.nirin.jp/>）をご参照ください。

締め切りが迫っていますが相談に応じます。

迷っている方は看護研究交流センターまでご連絡下さい。